

心技館 JOF 組技 A ルール

試合時間

3分1R

試合コスチューム

短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。

上半身は男女関係なく・Tシャツ・ラッシュイづれかの着用を義務づける。

試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする

レスリングシューズは着用不可とする

試合用具

・片手、片足にコナー側色のリストバンドを装着する

※リストバンドは主催者が用意したものを装着する

勝敗

- ・ 関節技、絞技による一本勝ち
- ・ ポイントによる優勢勝ち
- ・ 反則3回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け
- ・ 旗判定による判定勝ち
- ・ レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ
- ・ レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ

判定基準

- ・ レフリー1名、サブレフリー2名による計3名の旗判定とする
 - ・ アグレッシブ>ポジショニング>スタミナとする
- ※ 反則があった場合、考慮した上での旗判定とする
- ※ 判定による選手や第三者の抗議は一切認めません
- ※ 特例でレフリー1名による判定もあります

サブミッション、ポジショニングによるポイント基準

■サブミッション

- ・ サブミッションによるタップアウト、またはレフリーストップで一本勝ちとします
- ・ 絞技(チョーク系、三角絞)において、技が成立している体勢になった場合、1ポイントとします
- ・ 関節技において、クラッチが切れた際に技が成立する体勢になった場合、1ポイントとします

■ポジショニング

- ・ ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを3秒以上キープすると1ポイント、テイクダウンからは+1ポイントとする

反則

反則は軽微な反則は口頭注意から、改善が認められない場合は注意(−2ポイント)、更に反則をした場合は警告(−3ポイント)、更に反則をした場合は失格となります。

【主な反則】

- ・ 全ての打撃
 - ・ スタンド状態でのバックチョーク以外の全ての関節、絞め技
 - ・ 手首、脊髄への関節技
 - ・ 後頭部を強く引き、頸椎を圧迫させる絞め技
 - ・ 前腕またはスネを押しつけて圧迫する絞め技
 - ・ バスター、スパイクの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為
 - ・ 体を浴びせての大外刈りで相手を投げる行為
 - ・ スタンドから飛びついてガードポジション(バックを含む)をとる行為
 - ・ 相手の体に触れずグラウンド状態になり、引き込む行為
 - ・ 相手の指、競技道具、衣類をつかむ行為
 - ・ 金的、目への攻撃、又は指による突き攻撃、又は道徳上許されない行為
 - ・ カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技
 - ・ 足に足を巻き付けて投げる行為(スタンドでのツイスターフックの禁止)
 - ・ 故意にリング、及びマットの外に出る行為
 - ・ 整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為
 - ・ レフリーへの抗議、罵倒、暴力行為、又は指示に従わない行為
 - ・ 悪質、また競技に著しく支障をきたす反則についてはレフリー判断で反則負けとなる
- ※ その他、反則細事はレフリーの判断とする
- ※ 質問がある場合は必ず心技館、遠藤までお問合せ下さい

関節技注意点

- ・立関節技や体重を浴びせての関節技は禁止です。
- ・後頭部を強く圧迫し頸椎を伸ばす絞め技は禁止です。
- ・足関節技はアキレス腱固め、膝十字固めのみとする。
- ・関節技に関しましては、形になった時点でレフリーの判断で、見込み一本勝ちとします。
- ・足による腕がらみ(アームロック)等の腕への関節は一切禁止です。
- ・関節や絞技中に相手に持ち上げられた場合はブレイクとします。

【関節・絞め技でのポイント】

クラッチが切れれば技が成立する状態での関節技は1ポイント、絞め技の形となった場合1ポイントする
関節技や絞技の際中でも、膠着した場合はレフリーの判断でブレイクとします
その他、裁量はレフリー判断とします

【有効な関節、絞め技】

- ・腕十字
- ・アームロック(腕で極める場合のみ)
- ・アキレス腱固め
- ・膝十字
- ・三角絞め
- ・チョーク(頸椎を強く圧迫する、ガードポジションからのフロントチョークは禁止)

■その他わからない事があれば、遠藤までご連絡いただきますよう、宜しくお願い致します。
ルールの把握は自己責任とさせていただきます。

心技館 遠藤 090-3511-7489